

第 14 回山形県少年健全育成柔道大会 兼 第 11 回全国小学生学年別柔道大会県予選大会

実施要項

- 1 目 的 わが国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指し、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及。発展を期する。また、将来の日本柔道を背負う、ジュニア選手育成を目的とする。
- 2 主 催 山形県柔道連盟
- 3 後 援 山形県警察本部 (公益社団法人)山形県防犯協会連合会 山形県教育委員会
山形県スポーツ少年団 山形県体育協会 (公益社団法人)山形県接骨師会
山形県柔道高段者会
- 4 期 日 平成 26 年 6 月 7 日(土)午前 9 時 30 分開会選手受付は午前 8 時より会場入り口で行う。
- 5 会 場 山形市総合スポーツセンター
- 6 参加資格 全日本柔道連盟に登録しているものであり、指導者登録をしている監督が引率すること。
- 7 試合方法 男子、女子児童に区分し、5 年生、6 年生の学年及び体重別の個人戦でトーナメント法とする。
この大会は「**第 11 回全国小学生学年別柔道大会**」の選考会とするため、5 年生女子は 40 kg 級・40 kg 超級、5 年生男子は 45 kg 級、45 kg 超級、6 年生女子は 45 kg 級・45 kg 超級、6 年生男子は 50 kg 級・50 kg 超級として計量を行う。
試合時間は 3 分とし、「有効」または「指導 2」以上とし、得点差がない場合は、旗判定により勝敗を決定する。但し準決勝からは、ゴールデンスコア(1 分)により勝敗を決定する。
ゼッケンの着用
柔道着にゼッケン(団名)を縫い付けて出場すること。
布地は白色サイズは概ね横 30cm 縦 20cm
名字(姓)上団名下男子は黒色女子は赤色
縫い付けの場所は後ろ襟から約 10cm 下部とする。
- 8 審 判 「国際柔道連盟試合審判規定」(少年大会申し合わせ事項)による。
(新ルールで実施)
- 9 表 彰 各学年、クラスごとに優勝、準優勝、第 3 位(2 名)
参加者全員に参加賞を授与する。
- 10 申し込み 申込み申込書により大会事務局に郵送にて申込みこと。
〒990-0834 山形市清住町 1-2-26
武田淳一 TEL090-7328-7534・FAX(023)644-1355
参加資格人数については、別紙のとおり
締切り平成 26 年 5 月 23 日(金)午後 4 時必着。
申込み後の選手及び体重の変更は認めない。
- 11 参加料 申込み時、選手 1 名につき 500 円(1 日保険代金含む)を同封すること。
- 12 組合わせ 大会主催者が行う。
- 13 安全管理 ○選手はスポーツ安全協会傷害保険に加入していること。
救護係として山形県接骨師会山形支部会員を配置して万が一の事故発生に備える。
- 14 計 量 大会当日午前 8 時 30 分~9 時会場に於て行う。
- 15 その他 審判・監督会議は 8 時 50 分より会場会議室で行う。
少年は大切な成長過程にあることを重視し、指導者の方は選手に無理な減量をさせないように厳に注意すること。
試合場には選手及び監督記章をつけた監督以外は入らないこと。監督の服装は正装とし作業衣やトレーナー等は禁止します。
なお、今大会へ各チームより**審判員を 1 名派遣**願います。審判員の服装は正装
当日、審判員は監督でも認めますが自分のチームの審判は避けて下さい。
山形県柔道連盟ホームページ <http://www.JUDOyamagata.com/>

脳震盪対応について

ジュニア（20歳未満）以下の大会要項に下記条項を追加する

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- 1、 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- 2、 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
- 3、 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- 4、 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。